

2. 初等教育学科

初等教育学科では、小学校や幼稚園の教員養成を主な目的とし、子どもたちの育成指導に関わる基礎・専門知識や技能などを学修する。専門教育科目には、人間開発学部理念、目的を体現する中核的な教育科目（学部コア科目）、本学科において基幹となる固有の教育科目（基幹科目）を学んだ上で、現在の子どもが習得を求められている諸内容を指導することができる力量を持った教育者を養成することができるように「言語・古典」「自然科学」「児童英語」の3つの展開科目類を設けている。そして、教育科目内容の理解を深め実践力を養うための演習・実習には、3年次に「演習」があり、4年次の演習・卒業論文の作成指導によって学修の総仕上げを行う。また、教員免許取得を目指す学生にとっては「教育実習」がある。その他、「人間開発」への取組をより幅広く豊かなものとするための多様な関連科目も履修することができる。

2-1. 学部コア科目

人間開発学部理念、目的を体現する中核的な教育科目群で、全て両学科共通の必修科目として配置されている。学際的視点によって構築される「人間開発」という本学部の中心理念の基礎理論や教育者・指導者の在り方を学ぶとともに、「人間開発」の基盤をなす本学の建学の精神に基づき「日本の伝統文化」の理解を図る。

2-2. 基幹科目

初等教育学科において基幹となる固有の教育科目群（選択必修）で、4つの展開科目類への橋渡しとなる性格を有している。初等教育に携わる教員として必須の小学校教諭一種免許状を取得するための科目、即ち、教育課程及び教育指導法に関する科目、生徒指導及び教育相談に関する科目、各教科の基礎となる概説科目、また「音楽」関係科目、ボランティアと社会参加に関する科目を配当している。さらに初等教育段階における伝統文化教育の充実を図るため、日本の伝統文化への理解を深め、教育内容へと展開する方法を学修する。

2-3. 展開科目

展開科目類を選択履修することによって、自己の個性と関心に合った得意分野を発見し、その専門性を高めることができる。また、特定の展開科目類に偏らない履修方法も可能である。

▼Ⅰ類「言語・古典」

国語科における言語・古典を重視する方向性を受け、日本の言葉・文学とその歴史、書道などの言語文化に関わる科目を学ぶ。具体的には、我が国や郷土の伝統・文化のよさを的確に伝えることのできる基本的な国語力を養成する教育指導に卓越し、さらに我が国の古典や文学などの言語文化に触れさせて豊かな感性や情緒を十分に育み、子どもたちの発達の段階に応じてより高度な言語活動を指導する能力の育成を図る。

▼Ⅱ類「自然科学」

理数教育のために不可欠な論理的および科学的思考能力を培い、必要な知識と技術を身に付けるための科目を学ぶ。具体的には、物質・エネルギーや生命・地球などを探るための観察と実験の方法を学び、自然科学に関する基礎的な知識を習得し、算数や理科の授業を充実させる構成力とコンピュータ分析法等を身に付けて、子どもたちに探求と発見の楽しさを教授できる力の育成を図る。

▼Ⅲ類「児童英語」

英語圏を中心とした外国の言語と文化の基礎知識を習得するとともに、外国語（英語）活動を通して積極的に他者とコミュニケーションを図る意欲的な学習態度を育成するための理論と方法を学ぶ。具体的には、子どもたちに外国（英語圏）の言語の構造や文化的な背景を十分に理解させつつ、初歩的な外国語（英語）を通じたコミュニケーションを体験させる言語活動の分野において卓越した資質・能力の育成を図る。

2-4. カリキュラムの構成と履修方法

初等教育学科における専門教育科目の構成とその履修方法は、次のとおり。

科 目 区 分		卒 業 要 件		
専 門 教 育 科 目	学 部 コ ア 科 目	4 科目 8 単位必修	合計 74 単位以上	
	基 幹 科 目	8 科目 16 単位選択必修		
	展 開 科 目	I 類		1 科目 2 単位必修
		II 類		1 科目 2 単位必修
		III 類		1 科目 2 単位必修
	演 習 ・ 実 習			2 科目 6 単位必修
	関 連 科 目			

- 注 1) 卒業するためには、専門教育科目から 74 単位以上を修得しなければならない。なお、教育実習に関する科目は、要卒単位に含まれない。
- 注 2) 開講科目及び卒業要件の詳細は、P12・13 のカリキュラム表を参照のこと。
- 注 3) 卒業論文の詳細は、P24・25 を参照のこと。
- 注 4) 教育実習は選択制。2 年次の履修登録時に、履修登録を行うこと。
- 注 5) 教職・資格課程の詳細は、第 5 章「教職課程」・第 6 章「資格課程」をそれぞれ参照のこと。
- 注 6) 基幹科目「ボランティアと社会参加」は、小・中学校教員免許状取得希望者に必須である「介護等体験」に参加するための前提となる科目である。

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				備考
				1	2	3	4	
学部コア科目	人間開発基礎論Ⅰ (人間力育成の人間学)	半期	2	○				8単位必修
	教職論	半期	2	○				
	日本の伝統文化Ⅰ (伝統文化の心と歴史)	半期	2		○			
	日本の伝統文化Ⅱ (日本の近代化と生活文化)	半期	2		○			
基幹科目	人間開発基礎論Ⅱ (ヒトのしくみとはたらき)	半期	2	○				16単位選択必修
	教育の原理	半期	2	○				
	教育課程論	半期	2	○				
	運動学	半期	2	○				
	発達と学習	半期	2			○		
	教育と社会	半期	2			○		
	伝統文化と生活論Ⅰ	半期	2			○		
	伝統文化と生活論Ⅱ	半期	2			○		
	伝統文化授業論	半期	2				○	
	初等科教育法(国語)	半期	2			○		
	初等科教育法(社会)	半期	2			○		
	初等科教育法(算数)	半期	2			○		
	初等科教育法(理科)	半期	2			○		
	初等科教育法(生活)	半期	2			○		
	初等科教育法(音楽)	半期	2			○		
	初等科教育法(図工)	半期	2			○		
	初等科教育法(家庭)	半期	2			○		
	初等科教育法(体育)	半期	2			○		
	道徳教育の理論と方法	半期	2				○	
	特別活動の理論と方法	半期	2				○	
	特別支援教育論	半期	2				○	
	児童理解の理論および方法	半期	2		○			
	教育相談	半期	2				○	
	生徒指導	半期	2			○		
	国語概説	半期	2			○		
	社会科概説	半期	2			○		
	算数概説	半期	2			○		
	理科概説	半期	2			○		
	生活科概説	半期	2			○		
	音楽概説	半期	2		○			
	図工概説	半期	2		○			
	家庭科概説	半期	2		○			
	体育概説	半期	2		○			
教育の方法と技術	半期	2				○		
授業アセスメント論	半期	2				○		
ボランティアと社会参加	半期	2		○				
音楽基礎指導法	半期	2		○				
ピアノ実技A	半期	1		○				
ピアノ実技B	半期	1			○			
こども生活基礎論	半期	2		○				
展開科目	I類 (言語・古典)	言語・古典基礎論	半期	2	○			2単位必修
		児童文学	半期	2		○		
		日本語学概説Ⅰ	半期	2		○		
		日本語学概説Ⅱ	半期	2		○		
		日本文学概説Ⅰ	半期	2		○		
		日本文学概説Ⅱ	半期	2		○		
		日本文学史Ⅰ	半期	2		○		
		日本文学史Ⅱ	半期	2		○		
		日本時代文学史Ⅰ	半期	2			○	
		日本時代文学史Ⅱ	半期	2			○	
		伝承文学概説Ⅰ	半期	2			○	
		伝承文学概説Ⅱ	半期	2			○	
		漢文学概説	半期	2			○	
		書道	通年	4			○	

次ページに続く

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				備考	
				1	2	3	4		
展開科目	II類 (自然科学)	理科実験・観察基礎論	半期	2	○				2単位必修
		理科実験・観察法(生命)	半期	2		○			
		理科実験・観察法(地球)	半期	2		○			
		理科実験・観察法(粒子)	半期	2		○			
		理科実験・観察法(エネルギー)	半期	2		○			
		理科授業構成論	半期	2				○	
		コンピュータ分析法	半期	2				○	
		算数授業構成論	半期	2				○	
		ICT授業構成論	半期	2				○	
		III類 (児童英語)	児童英語基礎指導論	半期	2	○			
外国語活動指導法	半期	2		○					
コミュニケーション演習I(英語)	半期	2				○			
外国語学I	半期	2				○			
外国文学I	半期	2				○			
外国文学II	半期	2				○			
英米現代事情I	半期	2		○					
英米語研究II	半期	2				○			
英米地域文化論II	半期	2		○					
演習・実習	演習・卒業論文	半期	2				○	6単位必修	
	教育インターンシップ	半期	2				○		
	教育実習IA(事前指導)	半期	1		○			自由科目(要卒業単位外)	
	教育実習IB(事後指導)	半期	1			○			
	教育実習II	半期	2				○		
	教育実習III	半期	2				○		
	教職実践演習	半期	2				○		
関連科目	保育内容総論	半期	2		○			※隔年開講 ※隔年開講	
	保育内容(健康)	半期	2				○		
	保育内容(人間関係)	半期	2				○		
	保育内容(環境)	半期	2				○		
	保育内容(言葉)	半期	2				○		
	保育内容(表現)	半期	2		○				
	リトミック	半期	1		○				
	学校・学級経営論	半期	2				○		
	人権教育論	半期	2				○		
	重度・重複障害児の教育	半期	2		○				
	知的障害児心理学	半期	2				○		
	地域教育社会学	半期	2				○		
	家庭教育論	半期	2		○				
	臨床教育学	半期	2				○		
	人間形成の心理学	半期	2				○		
	小児医療	半期	2				○		
	性別による身体特性	半期	2		○				
	摂食のしくみと食育	半期	2		○				
	メンタルヘルス	半期	2				○		
	衛生学・公衆衛生学	半期	2				○		
	学校保健	半期	2				○		
	安全な社会教育	半期	2				○		
	ジェンダーと社会教育	半期	2				○		
	企業内教育	通年	4				○		
	日本史概論I	半期	2				○		
	東洋史概論I	半期	2				○		
	西洋史概論I	半期	2				○		
人文地理学	半期	2				○			
社会学A	半期	2				○			
社会学B	半期	2				○			
宗教学	通年	4				○			

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

注) 開講時期は年度により、変更される場合がある。